

介護保険 負担限度額認定申請書

令和 年 月 日

長南町長 様

次のとおり関係書類を添えて、食費・居住費(滞在費)に係る負担限度額認定を申請します。

		介護保険法施行規則第83条の5第 号に係る申請									
フリガナ		被保険者番号									
被保険者氏名	(印)	個人番号									
生年月日											
住所	連絡先										
入所(院)した介護保険施設の所在地及び名称(※)	連絡先										
入所(院)年月日(※)	(※)介護保険施設に入所(院)していない場合及びショートステイを利用している場合は、記入不要です。										

配偶者の有無		有 ・ 無		左記において「無」の場合は、以下の「配偶者に関する事項」については、記載不要です。							
配偶者に関する事項	フリガナ										
	氏名										
	生年月日	明・大・昭・平	年	月	日	個人番号					
	住所	連絡先									
	本年1月1日現在の住所(現住所と異なる場合)										
	課税状況	市町村民税		課税		・ 非課税					

収入等に関する申告	<input type="checkbox"/>	①生活保護受給者／②市町村民税世帯非課税である老齢福祉年金受給者					受給している全ての年金の保険者に○して下さい 日本年金機構 地方公務員共済 国家公務員共済 私学共済
	<input type="checkbox"/>	③市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金※・障害年金】収入額の合計額が年額80万円以下です。(受給している年金に○して下さい。以下同じ。) ※寡婦年金、かん夫年金、母子年金、準母子年金、遺児年金を含みます。以下同じ。					
	<input type="checkbox"/>	④市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金※・障害年金】収入額の合計額が合計額が年額80万円を超え、120万円以下です。					
	<input type="checkbox"/>	⑤市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金※・障害年金】収入額の合計額が合計額が年額120万円を超えます。					
預貯金等に関する申告 ※通帳等の写しは別添のとおり	<input type="checkbox"/>	預貯金、有価証券等の金額の合計が②の方は1000万円(夫婦は2000万円)、③の方は650万円(同1650万円)、④の方は550万円(同1550万円)、⑤の方は500万円(同1500万円)以下です。 ※第2号被保険者(40歳以上64歳以下)の場合、③～⑤の方は1000万円(夫婦は2000万円)以下です。					
	預貯金額	円	有価証券 (評価概算額)	円	その他 (現金・負債を含む)	円	() ※ 円

※内容を記入してください

申請者が被保険者本人の場合には、下記について記載は不要です。

申請者氏名	連絡先(自宅・勤務先)
申請者住所	本人との関係

注意事項

- (1) この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。
- (2) 預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数所有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写しを添付してください。
- (3) 書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上添付してください。
- (4) 虚偽の申告により不正に特定入所者介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項の規定に基づき、支給された額及び最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。

介護保険 負担限度額認定申請書

記載例

令和〇年〇月〇日

長南町長 様

次のとおり関係書類を添えて、食費・居住費(滞在費)に係る負担限度額認定を申請します。

介護保険法施行規則第83条の5第 号に係る申請	
フリガナ	チョウナン ハナコ
被保険者氏名	長南 花子
生年月日	昭和〇年〇月〇日
住所	長南町長南 〇〇〇
入所(院)した介護保険施設の所在地及び名称(※)	〒△△△-△△△△ 長南町長南〇〇〇 介護老人保健施設〇〇〇
入所(院)年月日(※)	令和 〇年 〇月 〇日

被保険者番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
個人番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

ショートステイの場合は記入不要です。

どちらかに必ず〇をしてください。
※配偶者とは、別居・世帯分離をしている場合や、事実上の婚姻関係も含みます。

配偶者の有無	有	無
フリガナ	チョウナン タロウ	
氏名	長南 太郎	
生年月日	明・大(昭)・平 〇年 〇月 〇日	個人番号
住所	長南町長南 〇〇〇	連絡先
本年1月1日現在の住所(現住所と異なる場合)		
課税状況	市町村民税 課税	非課税

該当する項目にチェックをしてください。また、非課税年金を受給している場合は遺族年金又は障害年金に〇をしてください。

必ずご記入ください。通帳等の写しを添付してください。

<input type="checkbox"/>	①生活保護受給者/②市町村民税世帯非課税である老齢福祉年金受給者	受給している全ての年金の保険者に〇をしてください 日本年金機構 地方公務員共済 国家公務員共済 私学共済
<input checked="" type="checkbox"/>	③市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金※・障害年金】収入額の合計額が年額80万円以下です。(受給している年金に〇して下さい。以下同じ。) ※寡婦年金、かん夫年金、母子年金、準母子年金、遺児年金を含みます。以下同じ。	
<input type="checkbox"/>	④市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金※・障害年金】収入額の合計額が合計額が年額80万円を超え、120万円以下です。	
<input type="checkbox"/>	⑤市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と合計所得金額と【遺族年金※・障害年金】収入額の合計額が合計額が年額120万円を超えます。	
<input checked="" type="checkbox"/>	預貯金、有価証券等の金額の合計が②の方は1000万円(夫婦は2000万円)、④の方は550万円(同1550万円)、⑤の方は550万円(同1550万円) ※第2号被保険者(40歳以上64歳以下)の場合、③~⑤の方は1000万円	
別添のとおりに	預貯金額 〇〇〇〇 円	有価証券(評価概算額) 〇 円

受給している全ての年金保険者に〇をしてください。

※内容を記入してください

申請者氏名	ご本人からの申請であれば記載不要です。ご家族からであれば全て記入してください。	連絡先(自宅・勤務先)
申請者住所		本人との関係

- 注意事項
- この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。
 - 預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数所有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写しを添付してください。
 - 書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上添付してください。
 - 虚偽の申告により不正に特定入所者介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項の規定に基づき、支給された額及び最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。